

県スポ協プレゼンツ  
 ～今、注目の選手たち～  
 花巻南高校 ソフトボール部  
**佐藤 絵鈴さん**

2025年12月18日、「県スポーツ協会表彰式」で栄光賞を受賞された花巻南高校ソフトボール部の佐藤絵鈴さんへソフトボールの取り組みや今後の目標などについて伺いました。

#### Profile

2008年7月12日生まれ、岩手県花巻市出身。  
 小学2年からソフトボールを始める。昨年4月、全国98人が参加した選考会を通過し女子U18日本代表メンバー16人に選出。9月27日～10月1日にアメリカで開催された第15回女子U18ワールドカップファイナルでは「5番・一塁手」で全5試合に出場した。なお、同大会では花巻南高校ソフトボール部の佐藤洋介監督もヘッドコーチとして指揮を執った。

#### 2025年の主な成績

15回女子U18ワールドカップファイナル 準優勝  
 第77回全日本高校女子ソフトボール選手権（インターハイ）ベスト8



さとう えりん  
 佐藤 絵鈴 選手

#### Q 佐藤絵鈴さんにとって、2025年はどんな一年でしたか？

A 成長も後悔もあった一年でした。成長の部分では、代表に選ばれて世界と戦えたこと、インターハイで優勝候補の相手に勝ってベスト8になれたことが印象深いです。ただ、そのインターハイはピッチャーで出場しましたが、体力不足で最後まで投げ切れませんでした。また、代表でも自分の強みであるバッティングで貢献できなかったことが後悔として残っています。

#### Q U18日本代表に選ばれたときの率直な気持ちと、ワールドカップを戦ってみての感想を教えてください。

A 最初は信じられなかったですし、「自分で本当に大丈夫なのか」という不安の方が大きかったです。実際に世界大会を戦ってみて、実力不足の部分もたくさん見えてきました。技術的にも、人間的にも、もっと進化していかなければならないと強く感じました。

#### Q ソフトボールを始めてから、どんな思いで競技に取り組んできましたか？

A 小学2年から競技を始めましたが、中学生の頃までは目標設定も低く、楽しさだけを求めてソフトボールをしていたように思います。それが、高校に入ってから、U18日本代表での指導実績もある佐藤先生のもとでソフトボールを学び、「日本一になりたい」という高い目標を持てるようになりました。

#### Q 日本代表としてワールドカップに出場した後の心境の変化、取り組みの変化、思考の変化はありますか？

A いつも佐藤先生は「見ようとするものにはしか見えない、聞こうとするものにはしか聞かえない」という話をされるのですが、世界大会に出てから、その言葉の本質をあらためて理解できました。指導されたことをただ受け入れるのではなく、言われた意味を考えて、課題に対して意識を向ける。そうした人間力の成長を、今は大事にしています。

#### Q 今後の目標や、重点的に頑張っていきたいことがあれば教えてください。

A ピッチャーは一球一球を背負う大事な役割。失投も許されない大黒柱の存在なので、ランナーを1人も返さないピッチングでチームの勝利に貢献したいです。また、バッティングでも、大事な場面で「絵鈴になら任せられる」と周りから信頼してもらえそうなバッターに成長したいです。

#### Q 最後に、岩手でソフトボールに取り組んでいる子どもたち、スポーツに取り組んでいる小中学生にメッセージを！

A ソフトボールは球技なので、チームワークが大切です。花巻南高校は全員が岩手県出身。田舎のチームではありますが、「オール岩手」で戦えば、全国各地から選手が集まるような強豪私学にも勝てるんだということを、後輩たちに示したいと思っています。インターハイや国スポでは日本一を目指して頑張ります！

